



みなみ 園だより 10がつ

令和6年10月1日
目黒区立南保育園園長

ようやく秋らしい季節になってきました。先日、幼児クラスで運動会の各クラスの取り組みを見せ合いました。5歳児クラスが竹馬にのっている姿を見て、4歳児クラスの子が「〇〇くんは5歳になったら竹馬やりたいんだ」と私に向かってつぶやきました。「楽しみだね」と返すと、「そう。楽しみなんだ」と言います。思い返すと、今年度に入り、今の5歳児クラスの子どもたちも運動会で何をやりたいかをクラスで話合っているときに「まえのとんぼさんがかっこよかったから」と今年度取り組む内容を相談して決めていました。憧れる気持ちが年下の子どもたちへと引き継がれていることを感じました。その中で「やってみたい」「できないけどがんばりたい」「くやしい」などの色々な感情が芽生えます。自分自身の心の中で良い感情にも、そうではない感情にも向き合い、乗り越え、子どもたちは成長していきます。運動会当日は、子どもたちのありのままの姿にたくさんの声援をお願いいたします。

今月の行事予定



運動会

芋ほり遠足（4・5歳児クラス）

0歳児健診

幼児お楽しみ会

（3・4・5歳児クラス）

焼き芋（全クラス）

身体計測 避難訓練（全クラス）

保「今日は引き取り訓練だから、寄り道
しないでまっすぐ帰ろうね」

子「先生、無理」

保「どうして」

子「だって私の家、右に曲がらないと行
けないの」

子どものつぶやき
（4歳児クラス）

素敵なひととき（副園長）

0歳児クラスで一人の子とふれあい遊びをしていました。曲の最後に「階段のぼってコチョコチョコ」とおなかをくすぐると大笑いし、もう一回やるとリクエストをされます。何度も繰り返し楽しんでいるとそれを見ていた子が傍に来て間に入り（わたしもやってほしいの）と伝えようとしてきました。「やりたいの。〇〇ちゃんの次ね」と伝えると隣に座り、待っていてくれます。その子の番になると嬉しそうにふれあい遊びをし、最後の「コチョコチョコ」で大笑いをする、まるで（今度はこっちの子の番ね）というようにもう一人の子を指さします。その後も3人で笑い合いながら、何度もふれあい遊びをしました。

0歳児クラスでも友達のことを見ていることと、一緒に楽しもうという気持ちが育っていることに驚き嬉しさを感じました。クラスでは日頃、子ども一人ひとりの気持ちを十分に受け入れることを大切にしています。だからこそ、保育士が（次は隣の子ね）と伝えなくても、子どもから自然に出た行動なのだと思います。

これからも、どのクラスも一人ひとりの子どもの気持ちを大切に受け止めて関わっていき、人と関わる楽しさを体験できるようにしたいと思います。





今月は0・1歳児クラスの運動遊びの様子を紹介します。

【0歳児 ありんこ組】

巧技台や斜面階段などを組み合わせて設定し、意識して体を動かして遊べるようにしています。



「私も僕ものぼってみたい」



足の指と裏をしっかりと使って、高這いの姿勢でのぼっていきます。

頂上につくと、笑顔でこちらを見たり、保育士と拍手をしたりして、喜びを表現しています。これからも子どもたちがやってみようと思えるような設定を工夫し、体を動かすことを楽しめるようにしたいと思います。

【1歳児 てんとうむし組】

タイヤを並べると大きな遊具に変身。タイヤの上にマットを置くとまるでトランポリンです。

「のぼってみようヨイショヨイショ」



2段になっても登れるよ
足をもっと高く上げて慎重に

「ジャンプジャンプ」
まだ跳べないけど
気持ちは跳んでいます



腕と足を使って、手の先まで使ってよじ登り、降りています。
遊びの中で楽しく運動できるようにこれからも工夫して遊んでいきます。